

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和6年度においては、次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、新大学キャンパスのエントランス部分の木質化を実施しました。
- また、区役所や本庁舎といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、椅子、屋外ウッドデッキ等の整備を実施しました。

□ 事業内容

クラフトパーク改修更新事業（施設名 大阪市立クラフトパーク）

- ・ 1階ホワイエ及び2階吹きガラス工房前の休憩スペースのベンチ等を国産木材を活用して更新し、利用者がくつろげる空間を創出した。

【事業費】4,543千円（うち譲与税4,543千円）

【実績】背付きベンチ、スツール、絵本ラック、テーブル、ベンチ、TV台（AVキャビネット）、フロアパネル等

□ 事業スキーム

- ・ 国産木材背付きベンチ等…制限付一般競争入札
- ・ 国産木材フロアパネル等…随意契約（比較見積）

□ 工夫・留意した点

- ・ 来所者スペースに国産木材で作ったベンチやテーブル、スタッキングチェア等を置き、来所者やモノづくりの作業の合間に教室受講者がリラクセスできるスペースを提供した。
- ・ 小さな子どもを連れた来所者にもくつろいでいただけるよう国産木材のフロアパネルを敷き詰めたコーナーを設け、スツール、絵本ラック等を置いた。

□ 基礎データ

①令和6年度譲与額：337,851千円		②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%		④人口（※2）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※2）：157人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

